

大河原町立大河原小学校 放課後子供教室「ほうかご寺子屋」特別教室

- 市町名 大河原町
- 学校名 大河原町立大河原小学校
- 期 日 令和3年10月4日(月)

○内 容 理科実験教室

○講 師 岡崎 雄博 氏

○補 助 山本 玲 氏(コーディネーター)
今野 貞子 氏(教育活動推進員)
森 貢喜 氏()
阿部 康子 氏()

○対 象 大河原町立大河原小学校
1学年～3学年

○大河原小学校放課後子供教室

「ほうかご寺子屋」とは

大河原小学校放課後子供教室「ほうかご寺子屋」は、幅広い年代の大人や異なる年代の児童と交流や学習を通して、子供たちにとって新しい学びや気づきを創出することを目的に設置しています。

学校を退職された先生や地域の方々3名が教育活動推進員として常時付き添い、子供たちの活動を見守り、ともに活動します。また、大学生の数名が補助役として活動に参加し、子供たちの活動をサポートします。

勉強の日は宿題や自主学習を通して、学びを深め、年に数回ある体験活動の日は、仙台大学の学生や学校の異なる友達と遊びます。「理科実験教室」のような特別教室等交流の機会も多様です。

定 員 34名

対象学年 1学年～3学年まで



様々な実験を披露してくれた岡崎講師

○児童の声

～金属パイプを使った実験を見て～

勝手にパイプから音が出るのが本当に楽しかった。

～風船を使った実験を見て～

風船を膨らませて「バーンッ」と鳴ったのが楽しかった。 【1学年男子】

理科実験を見たとき、「どうやったんだろう」と思いながら見ていました。

パイプに火を通すと音が鳴るなんて思っていませんでした。

風船を尖った棒で焼き鳥みたいに刺して割れないなんて本当にすごいです。 【3学年女子】

ふしぎだと思える実験が続いて意味を説明されてもむずかしい言葉が続いてよく分かりませんでした。 【3学年男子】



不思議！？鉄のパイプから音がでてきた！

鉄のパイプに火を入れて下にすると音が出るのがすごいなと思いました。

ペットボトルに風船を付けて膨らませて手を離しても空気が抜けないのがすごいなと思いました。
【3学年女子】

見たこともない実験が見られて良かったです。理科が嫌いだけど楽しくなって好きになりました。一番すごいのは火をパイプに入れて鳴く実験です。
【3学年女子】

※鉄パイプを加熱し、膨張させることにより「ぶお〜」と音を出す実験がことのほか印象に残ったようです。



○講師から

理科実験というと、特殊な薬品や器具を使って行うものと思いがちですが、身の回りにあるものでも魔法のような現象を再現することが出来ます。

「何故そうなるのか」を説明するのは、学年や現象により難しいですが、いずれ授業の中に出てくるものが多いです。今回の理科実験で驚いたこと、不思議に思ったことについて、「これ見たことある！」と記憶に残ってくれていると嬉しいです。

(講師 岡崎 雄博 氏)



○社会教育指導員から

普段は前半に宿題や自主学習を行い、後半はゲームや折り紙などの自由時間にしています。

特別な活動として、各学期に1回、後半にM A P活動や理科実験などを取り入れた特別教室を設定し、児童の健全育成を図っています。

今回は「理科実験教室」の日であり、驚きの瞬間や疑問の眼差しなど、児童の生き生きとした表情が見られました。コロナの感染拡大防止に係る対策のため、児童の「やってみたい」という活動の要望が叶えられなかったことが残念でした。



○教育事務所から

大河原小学校放課後子供教室では、年に一度、「科学の不思議」について知る貴重な時間があります。児童へも、理科の実験に興味・関心を持たせるための機会となっているようです。

児童が岡崎講師の実験に目を輝かせながら参加している姿が印象的でした。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)